

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 6月 1日

仕事の内容	感染症対策事業（消毒）			
担当部署・課長名	健康課	課	予防係	課長名 志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 保健・医療の充実

（総合計画書 47 ページ）

予算名	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 2	予防費	事業 1	予防事業費
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 ①浄化槽を設置している家庭での大雨による汚水の溢水後、市民から依頼のあった宅地内及び周辺道路 ②感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症予防法」）第27条第2項に基づく保健所から消毒する指示があった場所				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 消毒が必要となった箇所数 ①大雨による汚水の溢水によるもの ②感染症予防法によるもの			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①感染症の発生防止及びまん延防止 ②感染症のまん延防止				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） ①大雨による溢水後感染症の発生防止及びまん延件数 ②感染症発生後の感染症のまん延件数			
	③ そのために何をしましたか。 ①汚水の溢れた宅地内の消毒 ②保健所から指示のあった場所の消毒				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 消毒を行った日数			

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	箇所 ① 15 ② 0	箇所 ① 0 ② 0	箇所 ① 1 ② 0	/	/
	成果指標	②の数値	箇所 ① 0 ② 0	箇所 ① 0 ② 0	箇所 ① 0 ② 0	/	/
	目 標	②の目標値	%	/	/	0	0
			目標値設定の考え方	感染症のまん延を防止する。			
	活動指標	③の数値	日 4	日 0	日 1	/	/

3 経費	事業費（実績）		円	980	2,381	41,447	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外）年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	980	2,381	41,447	
		特定財源	円	0			
		（うち受益者負担）	円	0	0	0	
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	時間	6.0		2.0	
		所要人数（再任用）	人	0	0.0	0.0	
		職員人件費（再任用以外）	円	25,200	0	8,400	
	職員人件費（再任用）	円	0	0	0		
事業費＋人件費		円	26,180	2,381	49,847		

この仕事における市の裁量 市の裁量はない

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 伝染病予防法（明治30年）に基づき実施（平成11年に廃止。感染症予防法となる。）
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 開始当時（昭和28年）は、赤痢発症等による消毒を実施していたが、近年は、感染症予防法に基づく消毒はなく、大雨による溢水後の消毒を平成23年度、平成26年度に実施したのみである。平成28年度から、大雨による溢水時の消毒は、下水道については汚水と雨水が分離していることから、浄化槽を設置しているご家庭で汚水が溢れた場合のみ対象とした。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 浄化槽の設置をしていないご家庭で溢水があり消毒の希望が1件あったが、消毒方法を説明することにより対応した。
-------------	---

仕 事 の 内 容	感染症対策事業（消毒）			
担当部署・課長名	健康課	課	予防係	課長名 志村 明子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
なし				
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。			
	・消毒用の噴霧器が経年劣化により使用不能となったため、29年度に更新した。			
(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。				
・感染症発生に伴う保健所からの指導で実施する消毒は近年実施実績がない。発生時には、業者への委託となるが、その範囲や手順等、あらかじめ確認しておく必要がある。				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（2）」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	・感染症発生時の市の役割を確認しておくとともに、平常時から市民に対する感染症の情報提供を行っていく。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。			
・感染症発生時には、保健所や近隣市との連携した対策を進める必要があることから、感染症地域医療連携 多摩立川ブロック協議会からの情報に留意し、準備しておく。				
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は削減する。